

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		昭和女子大学		設置者名		学校法人 昭和女子大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(平成20年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
						実数	個別		
人間文化学部	日本語日本文学科	120人	中一種免(国語)	昭和29年度	134人	32人	31人	3人	
			高一種免(国語)	昭和29年度			32人		
			高一種免(書道)	昭和32年度			9人		
	英語コミュニケーション学科	160人	中一種免(英語)	昭和29年度	186人	32人	31人	1人	
			高一種免(英語)	昭和29年度			32人		
			歴史的な文化学科	平成4年度			15人		
	国際学科	70人	中一種免(社会)	平成4年度	81人	15人	15人	1人	
			高一種免(地理歴史)	平成4年度			15人		
	人間社会学部	心理学科	75人	中一種免(社会)	平成15年度	74人	13人	13人	1人
				高一種免(公民)	平成15年度			13人	
		福祉社会学科	70人	高一種免(福祉)	平成15年度	73人	5人	5人	0人
				現代教養学科	80人			中一種免(社会)	
中一種免(英語)		平成15年度	1人						
高一種免(公民)		平成15年度	3人						
高一種免(英語)		平成15年度	1人						
初等教育学科		100人	幼一種免	平成18年度	12人	12人	12人	10人	
			小一種免	平成18年度			11人		
生活科学部		環境デザイン学科	160人	中一種免(家庭)	昭和37年度	194人	13人	13人	2人
	高一種免(家庭)			昭和37年度	13人				
	健康デザイン学科	75人	栄教一種免	平成17年度	83人	2人	2人	0人	
			中一種免(理科)	平成21年度					
			中一種免(保健体育)	平成21年度					
			中一種免(保健)	平成21年度					
			中一種免(家庭)	平成21年度					
			高一種免(理科)	平成21年度					
			高一種免(保健体育)	平成21年度					
			高一種免(保健)	平成21年度					
高一種免(家庭)	平成21年度								
入学定員合計		1,067人	合計		772人	129人	256人	18人	
文学研究科	日本文学専攻	5人	中専修(国語)	平成2年度	10人	5人	5人	4人	
			高専修(国語)	昭和49年度			5人		
	英米文学専攻	5人	中専修(英語)	平成2年度	2人	2人	2人	0人	
			高専修(英語)	昭和49年度			2人		
言語教育・コミュニケーション専攻	10人	中専修(英語)	平成17年度	5人	0人	0人	0人		
		高専修(英語)	平成17年度			0人			
生活機構研究科	生活文化研究専攻	10人	中専修(社会)	平成6年度	9人	0人	0人	0人	
			高専修(地理歴史)	平成6年度			0人		
	生活科学研究専攻	5人	中専修(家庭)	平成5年度	6人	0人	0人	0人	
			高専修(家庭)	平成5年度			0人		
	心理学専攻	20人	高専修(公民)	平成17年度	19人	1人	1人	0人	

生活機構研究科	福祉社会研究専攻	5人	中専修(社会)	平成18年度	4人	0人	0人	0人
			高専修(福祉)	平成18年度			0人	
	環境デザイン研究専攻	5人	中専修(家庭)	平成19年度	6人	1人	1人	0人
			高専修(家庭)	平成19年度			1人	
	人間教育学専攻	10人	幼専修	平成20年度	/	/	/	/
			小専修	平成20年度			/	
入学定員合計		75人	合計		61人	9人	17人	4人
文化創造学科	120人	中二種免(国語)	平成18年度	219人	4人	2人	0人	
		中二種免(家庭)	平成18年度			2人		
		中二種免(英語)	平成18年度			1人		
入学定員合計		120人	合計		219人	4人	5人	0人
備考	<p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成21年4月1日現在の名称・定員である。</p> <p>・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p>							

# 実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成21年7月10日（金）

実地視察大学：昭和女子大学・短期大学部

実地視察委員：安彦忠彦委員、宮崎英憲委員、鷺山恭彦委員

## ■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

### <状況>

（大学）

- ・ 3学部11学科で教員養成が行われている。

（大学院）

- ・ 2研究科9専攻で教員養成が行われている。

（短期大学）

- ・ 1学科で教員養成が行われている。

### <講評>

（大学・短期大学共通）

- ・ 全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。今後とも引き続き、教員養成の水準の維持向上に努めてほしい。

## ■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

### <状況>

（大学・短期大学共通）

- ・ 「全人的な人間教育」の理念に基づき、子どもや社会の変化に的確に対応できる高い使命感と教育愛、実践的指導力を備えた教員の養成を目指している。

具体的な教員像は以下の2つに大別される。

- 人心を優しく受容し、礼節を以って人心に寄り添い、自他を隔てぬ博愛と理解と調和が示す気品を身につけていること。

- 人間（人格）を対象とする職業に必要な人間・社会に関する科学的な知識の裏付けを持ち、成長過程にある人格に関わる上で不可欠な寛容と忍耐を旨として、使命感を持っていること。

### <講評>

（大学・短期大学共通）

- ・ 教員養成に対する理念・構想が示されているが、現段階でそれらを明確化・具体化するための全学的な組織が十分に整備されていない。教育課程、教員組織がより一層充実して効果を生み出せるよう、整備に努めてもらいたい。

## ■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

### <講評>

（大学・短期大学共通）

- ・ 中一種の「各教科の指導法」については、「課程認定審査の確認事項」において原則8単位開設することとなっているため、必ず8単位の開設をしてほしい。

- ・ 小学校の「各教科の指導法」のシラバスについて、「各教科教育法」と「各教育法演習」を併せても模擬授業が確認できない科目があるため、シラバス上でそれを含む事が確認出来るよう明記してほしい。
- ・ 中・高の「各教科の指導法」のシラバスにおいて、学習指導案の作成、模擬授業を確認できない科目があるため、シラバス上でそれを含む事が確認出来るよう明記してほしい。
- ・ 一部の科目で、15回分（講義）の授業回数が確保されていないため、授業時間数をきちんと確保してほしい。
- ・ 授業科目名「教職概論」において、教育職員免許法施行規則に定める各科目に含めるべき事項が含まれていないため、シラバス上でその事項を含む事が確認出来るよう明記してほしい。
- ・ 授業科目名「教育心理学」において、一部、心理学に特化しすぎた内容が含まれているので科目の趣旨を踏まえ、改善してほしい。
- ・ 「学生に対する評価」欄において出席のみで一定の評価を与えることは望ましくないため、評価方法を改善してほしい。

## ■ 教育実習の取組状況

### <状況>

（大学・短期大学共通）

- ・ 附属初等部や中高部、近隣都道府県及び市町村の教育委員会管轄の公立学校等に依頼し、各学科教務部委員及びクラスアドバイザーが実習校の指導教諭と連携をとる。
- ・ 評価については、教育実習評価委員会において、実習校からの資料に基づき、総合教育センターの教職科目担当教員が協議の上、行う。（初等教育学科では、学科の教員が協議の上、行う。）

### <講評>

（大学・短期大学共通）

- ・ 実習校との連携について、実習の効果を高めるため、より一層の連携を図ってほしい。

## ■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

### <状況>

（大学）

- ・ 「学習支援コミュニティ・サービ斯拉ーニング」…学習支援対象児童・生徒への援助を中心に活動する。（教職課程履修中または「心理学概説1」を既習の学生が参加）
- ・ 「教育現場体験」…小学校・幼稚園・保育所等において、体験を通して学ぶ。これらの一環として「館山プログラム」（本学研修学寮を会場に、小学校3年生から6年生までを対象に夏季学習課題の援助や模擬授業等を行う）も取り入れている。（初等教育学科対象）

### <講評>

（大学）

- ・ 非常に興味深い活動を行っている。それらを教職にフィードバックしていく仕組みを整備してほしい。

(短期大学)

- ・積極的な取り組みに努めてほしい。

## ■ 教職指導及びその指導体制の状況

<講評>

(大学・短期大学共通)

- ・教職課程を履修するための条件が厳しく設定されており、そのために免許取得率が低下しているのではないかと懸念される。希望を持った学生が途中であきらめることのないよう、可能な限りの系統的な支援を工夫してほしい。また、免許を取得するために、4年間でどのように履修していくのかという道筋をモデル化して図示する等、学生に明確な見通しを持たせる工夫をしてほしい。
- ・免許取得者への支援について、全都道府県の教員採用試験のデータを揃える等、キャリア支援センターの整備、充実に努めてほしい。
- ・図書の充実と併せて、過去の先輩の研究授業の指導案を揃える等、教育実習を支援していくための仕組みを整備してほしい。

## ■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

(大学・短期大学共通)

- ・教育実習に関する連絡調整等を行う組織として、教育実習評価委員会、教務部委員会がある。

<講評>

(大学・短期大学共通)

- ・教育実習評価委員会を十分に機能させ、全学的な組織にしてほしい。

## ■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

(大学・短期大学共通)

- ・コンピューター関係の施設・設備については、特に充実している。
- ・図書・資料については、幼・小は最低限揃っているが、中・高のものは今後、さらに充実させる必要がある。また、教科書・指導要領については、最新のものを揃え、「教職コーナー」として整備する等の工夫をしてほしい。